

愛をもって真実を語る

聖霊シリーズ4

ホープチャペル所沢

「こうして、私たちはもはや子どもではなく、人の悪巧みや人を欺く悪賢い策略から出た、どんな教えの風にも、吹き回されたり、もてあそばれたりすることがなく、むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです。」(エペソ4:14-15、新改訳2017)

序

聖霊は私たちを神の愛で満たし、真実を語らせて下さいます。今日はエペソ4章を通し、私たちは何をどのように語るべきか考えてみましょう。

1. 何を語るべきか？

- ア) 教えの風 (エペソ4:14、使徒20:29-35参照)
- イ) イエス・キリストの真実 (エペソ4:21、ルカ12:8-12参照)

2. どのように語るべきか？

- ア) 新しい人を着て (エペソ4:22-29、31、ローマ13:14参照)
- イ) 聖霊に喜ばれるように (エペソ4:30、マタイ5:15-16参照)

3. 何を目指すべきか？

- ア) 成長 (エペソ4:13-16、エペソ2:21-22、ローマ14:19参照)
- イ) 一致 (エペソ4:2-3、Iコリント1:10参照)

私たちの祈りと学び、話し合いと実践のために

1. 聖霊は今、誰かに何かを語るようにあなたを導かれていますか？
2. あなたは、どのように真実を語るべきだと思いますか？
3. 私たちの教会は、何を目指すべきだと思いますか？

20180429hct.j